

学科到達目標

科目区分	授業科目	科目番号	単位種別	単位数	学年別週当授業時数																				担当教員	履修上の区分	
					1年				2年				3年				4年				5年						
					前		後		前		後		前		後		前		後		前		後				
					1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q			
一般	選択	技術英語中級	0001		2																					松田 節郎	
一般	選択	総合英語中級	0002		2																					宮下 眞也 ヒマール シャル 早水 英美	
一般	選択	中国語3	0003		1																						
一般	選択	中国語4	0004		1																						

松江工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	技術英語中級
科目基礎情報					
科目番号	0001		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	: 2	
開設学科	人文科学科・数理科学科		対象学年	5	
開設期	前期		週時間数	4	
教科書/教材	理科系のための入門英語プレゼンテーション [CD付改訂版] (廣岡 慶彦, 朝倉書店)				
担当教員	松田 節郎				
到達目標					
(1) 科学技術英語に特有の語彙や表現のうち, 基本的なものを習得している。 (2) 英語で図表のキャプションを書くことができる。 (3) 発表原稿を見ながら, 短い英語プレゼンテーションができる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	科学技術英語に特有の語彙や表現のうち, 基本的なもの, 自らの専門分野に関する基本的ものを習得している。	科学技術英語に特有の語彙や表現のうち, 基本的なものを習得している。	科学技術英語に特有の語彙や表現のうち, 基本的なものを習得していない。		
評価項目2	英語で図表のキャプションを正しく書くことができる。	英語で図表のキャプションを書くことができる。	英語で図表のキャプションを書くことができない。		
評価項目3	発表原稿を見ながら, ある程度長い英語プレゼンテーションができる。	発表原稿を見ながら, 短い英語プレゼンテーションができる。	発表原稿を見ながら, 短い英語プレゼンテーションができない。		
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 3 人文・数理 3					
教育方法等					
概要	本科目では, 科学技術英語に特有の語彙や表現のうちで基本的なものを習得し, 国際学会等で口頭発表するための英語プレゼンテーション能力の基礎を培う。口頭発表のための英語は, 論文執筆のための英語とは異なるが, いずれに対しても適用可能な英語表現は数多く存在する。筆者の経験から, 研究および技術開発の成果はまず学会で口頭発表するのが一般的で, 成果の蓄積がある程度なされた後, 学術論文として取りまとめるのが普通だ。このため, 先に口頭発表のための英語を学んでおけば, 英語での論文執筆にスムーズに移行できるだろう。毎回, 教科書を用いて様々な語彙・表現を学んでいくが, 最終評価として各自の専門分野に関連する最新トピックをPowerPointのスライドにまとめ, 英語でプレゼンしてもらう。				
授業の進め方・方法	すべての到達目標は, 英語プレゼンテーション (90%) によって評価される。ただし, 普通の講義では「教科書の音読」と「英作文の練習」を行うため, 出席状況 (10%) を評価に入れる。総合評価が60点以上であれば, 合格とする。なお, 再評価試験は実施しない。 【自学自習】 予習・復習 10時間, 英語プレゼンの準備 5時間				
注意点	学修単位科目であり, 1回の講義 (90分) あたり90分以上の予習・復習をしているものとして講義を進めます。講義を受けるだけでは, 英語力は身に付きません。特に到達目標(1), (2)を達成するためには, 教科書に出てきた英単語・熟語を暗記し, 正確に発音できるように音読してください。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	YouTube視聴 (英語でプレゼン! そのコツ! ; 効果的なプレゼンテーションとは) / 授業ガイダンス, 科学英語の基本文型		
		2週	1章, 2-1節, 2-2節, YouTube視聴 (How to give a presentation in English) / 英語プレゼンテーションの予備知識とプレゼン直前の英語, 英作文の練習 (その1)		
		3週	2-3節, 2-4節 / タイトルページ, 講演概要 (Table of Contents), 英作文の練習 (その2)		
		4週	2-5節 / 動機・バックグラウンド, 英作文の練習 (その3)		
		5週	2-6節 (1/2) / 実験方法・理論 (モデル), 英作文の練習 (その4)		
		6週	2-6節 (2/2) / 実験方法・理論 (モデル), 英作文の練習 (その5)		
		7週	2-7節 (1/2) / 結果と考察, 英作文の練習 (その6)		
		8週	2-7節 (2/2) / 結果と考察, 英作文の練習 (その7)		
	2ndQ	9週	2-8節 / まとめと将来計画, 英作文の練習 (その8)		
		10週	3章 / 質疑応答の英語, 英作文の練習 (その9)		
		11週	付録I (1/2) / 学会プレゼンの予備練習, 英作文の練習 (その10)		
		12週	付録I (2/2) / 学会プレゼンの予備練習, 英語プレゼン実施要項の説明, 英作文の練習 (その11)		
		13週	英語プレゼンテーション (1/3) / 各自の専門分野に関連する最新的话题紹介		
		14週	英語プレゼンテーション (2/3) / 各自の専門分野に関連する最新的话题紹介		
		15週	英語プレゼンテーション (3/3) / 各自の専門分野に関連する最新的话题紹介		
		16週	プレゼンの予備日, TED視聴		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
				毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。	3	
				自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。	3	
				毎分120語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できる。	3	
自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、200語程度の簡単な文章を書くことができる。	3					

評価割合

	プレゼン	出席	合計
総合評価割合	90	10	100
基礎的能力	90	10	100
専門的能力	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0

松江工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	総合英語中級
科目基礎情報					
科目番号	0002	科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業	単位の種別と単位数	: 2		
開設学科	人文科学科・数理科学科	対象学年	5		
開設期	前期	週時間数	4		
教科書/教材	教科書Any Question (Perceptia Press) Academy 2、映画教材	Basic Reading for the TOEIC Test (成美堂)CALL 教材: Network			
担当教員	宮下 眞也,ヒガ マーシャル,早水 英美				
到達目標					
(1) TOEIC中級レベルの語彙・文法・構文を習得し、読解や英作文などに活用できる。 (2) さまざまな英語のトピックに関して、相手の話を理解するとともに、目的に応じて適切に回答することができる。 (3) Network Academy 2を活用して、ビジネスを中心としたさまざまな英語のトピックに関する英文を聞いたり、読んだりし、概要を理解することができる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	TOEIC中級レベルの語彙・文法・構文を習得し、読解や英作文などに正しく活用できる。	TOEIC中級レベルの語彙・文法・構文を習得し、読解や英作文などに活用できる。	TOEIC中級レベルの語彙・文法・構文を習得し、読解や英作文などに活用できない。		
評価項目2	さまざまな英語のトピックに関して、相手の話を理解するとともに、目的に応じて適切に回答することができる。	さまざまな英語のトピックに関して、相手の話を理解するとともに、目的に応じて適切に回答することができる。	さまざまな英語のトピックに関して、相手の話を理解するとともに、目的に応じて適切に回答できない。		
評価項目3	Network Academy 2を活用して、ビジネスを中心としたさまざまな英語のトピックに関する英文を聞いたり、読んだりし、概要を理解することが正しくできる。	Network Academy 2を活用して、ビジネスを中心としたさまざまな英語のトピックに関する英文を聞いたり、読んだりし、概要を理解することができる。	Network Academy 2を活用して、ビジネスを中心としたさまざまな英語のトピックに関する英文を聞いたり、読んだりし、概要を理解できない。		
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 3 人文・数理 3					
教育方法等					
概要	高専本科5年間で育てたい人材像は、以下の通りである。 「自分の専門分野に関する情報について、英語で理解し、やり取りができる、基礎的な英語運用力を身につけたエンジニア」 本授業においては、週1回（各90分）授業の45分を日本人教員が、45分をネイティブの教員が担当し、TOEIC中級レベルの4技能（Listening, Reading, Speaking, Writing）が修得できるよう、到達目標および評価基準を設定する。 なお、受講者には5月実施のTOEIC IP試験の受験を義務付ける。				
授業の進め方・方法	日本人教員（45分）教科書演習によって、語彙力・文法力を育成し、TOEIC演習を支援します。Network Academy 2を活用して、TOEIC演習を支援します。 ネイティブ教員（45分）教科書と英会話によって、英会話演習を行います。 [自主学习] 教科書予習・復習・自学TOEIC演習 20時間、定期試験の準備 10時間				
注意点	本授業は学修単位科目であり、1回の講義（30分）あたり30分以上の予習復習をしているものとして講義・演習を進めます。 本授業では、日本人教員の授業で小テスト、レポート等課題が出されます。本授業の目標達成のために、シラバスの内容をよく理解した上で履修し、小テスト、レポート、試験に真剣に取り組むことで実力を付けてください。 授業時間以外でNetAcademy 2の自主学习も行うようにしてください。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	授業ガイダンス、教科書Unit 1、Network Academy 2・映画教材 英会話演習 (Any Questions Unit 1 - The Dead Man in the Field)		
		2週	教科書Unit 2、Network Academy 2・映画教材 英会話演習 (Any Questions Unit 2 - The Elevator Puzzle)		
		3週	教科書Unit 3、Network Academy 2・映画教材 英会話演習 (Any Questions Unit 3 - John and Susan)		
		4週	教科書Unit 4、Network Academy 2・映画教材 英会話演習 (Any Questions Unit 4 - The Hungry Horse)		
		5週	教科書Unit 5、Network Academy 2・映画教材 英会話演習 (Any Questions Unit 5 - Food for Thought)		
		6週	教科書Unit 6、Network Academy 2・映画教材 英会話演習 (Any Questions Unit 6 - The Friday Puzzle)		
		7週	教科書Unit 7、Network Academy 2・映画教材 英会話演習 (Any Questions Unit 7 - The Curious Canine)		
		8週	中間試験		
	2ndQ	9週	試験返却・解説 教科書Unit 8、Network Academy 2・映画教材 英会話演習 (Any Questions Unit 8 - Bankrupt!)		
		10週	教科書Unit 9、Network Academy 2・映画教材 英会話演習 (Any Questions Unit 9 - The Taxi Driver's Revenge)		

		11週	教科書Unit 10、Network Academy 2・映画教材 英会話演習 (Any Questions Unit 10 - The Embarrassing Grandmother)	
		12週	教科書Unit 11、Network Academy 2・映画教材 英会話演習 (Any Questions Unit 11 - The Noisy Burlgar)	
		13週	教科書Unit 12、Network Academy 2・映画教材 英会話演習 (Any Questions Unit 12 - John! Don't Shoot!)	
		14週	教科書Unit 13、Network Academy 2・映画教材 英会話演習 (Any Questions Unit 13 - The Movie Murder)	
		15週	期末試験	
		16週	教科書Unit 14,15、Network Academy 2・映画教材 英会話演習 (How learning Judo is the same as learning English)	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
				毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。	3	
				自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。	3	
				毎分120語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できる。	3	
自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、200語程度の簡単な文章を書くことができる。	3					

評価割合

	試験	レポート	TOEIC	合計
総合評価割合	60	10	30	100
基礎的能力	60	10	30	100
専門的能力	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0

松江工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	中国語3	
科目基礎情報						
科目番号	0003		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	: 1		
開設学科	人文科学科・数理科学科		対象学年	5		
開設期	前期		週時間数	2		
教科書/教材	テキスト：一冊めの中国語会話クラス参考書：「中国語ジャーナル」 アルク社出版 「漢詩への誘う」 NHKシリーズ社出版 「中国語で歌おう」 アルク社出版					
担当教員						
到達目標						
中国語の発音に親しみ、簡単な挨拶、及び曜日、数字などを表現できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	中国語の発音に親しみ、簡単な挨拶、及び曜日、数字などを正しく表現できる。		中国語の発音に親しみ、簡単な挨拶、及び曜日、数字などを表現できる。		中国語の発音に親しみ、簡単な挨拶、及び曜日、数字などを表現できない。	
評価項目2						
評価項目3						
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 3 人文・数理 3						
教育方法等						
概要	<p>この授業は皆さんが身につけようとするのは、中国語の共通語（普通話）といわれているものです。本授業は、発音編（5回）、基本編（12回）、応用編（31回）の3つの部分で成り立っています。週1回の授業でも一年間無理なく終わることができるように構成しました。</p> <p>発音だけの課はなく、第一課から第5課までの単語や会話、コラムの中で発音とその表記法が自然と身につくように構成されています。</p> <p>基本編は、「あいさつ」や「月日・曜日・時間の表現」「数字の読み方」など、基本的な会話や言い方を取り上げ、中国語の構成と表現が理解できるようになっています。</p> <p>応用編では、中国の学校、普通の生活の中でさまざまな場面に出会います。そこで、現地の人と会話を通じ、中国語を学びます。</p> <p>(1) 生徒のレベルに合わせて、中国語の発音に親しむ。 (2) 正しい発音を身につけてから、中国語での挨拶、曜日の言い方、数字の読み方などを勉強させます。簡単な挨拶、及び曜日、数字などを表現できる。 (3) そして、実際、中国に留学、生活の中に出会うさまざまな場面を出し、その時に使う中国語を学びます。この勉強を通して、生徒に中国語に関心と呼び、中国へ留学に行く意欲をおこさせます。</p>					
授業の進め方・方法	予習 一次の授業でするところを読むようにする 授業中 教科書の文を理解し、読めるようにする 復習 毎回、前時学習内容の小テストを行う					
注意点	期末試験(80%)・テスト(20%) で成績を見て評価します。 普段の挨拶を中国語で行うことができるように					
授業計画						
	週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	会話：自己紹介			
		2週	家族紹介の会話を学習します(1)。 本文の解釈、文法の説明など			
		3週	誕生日のお祝い会話を学習します(2)。 小テスト1			
		4週	相手のスケジュールを訪ねる会話などを学習します(1)。 本文の解釈、文法の説明など			
		5週	相手のスケジュールを訪ねる会話などを学習します(2)。 会話練習			
		6週	道を尋ねるの表現を学習します(1)。 小テスト2			
		7週	中国の映画を鑑賞します。			
		8週	喫茶店での注文の表現を学習します(2)。 会話練習			
	2ndQ	9週	買い物の表現を学習します(1)。 小テスト3			
		10週	買い物の表現を学習します(2)。 会話練習			
		11週	コンサートを見に行くときの会話を学習します(1)。 本文の解釈、文法の説明など			
		12週	スポーツを見に行くときの会話を学習します(2)。 小テスト4			
		13週	観光と旅行の会話を学習します(1)。 本文の解釈、文法の説明など			
		14週	観光と旅行の会話を学習します(2)。 会話練習			

		15週	期末試験		
		16週	期末試験のFeedback 期末試験のFeedback		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル 授業週
評価割合					
		試験	テスト	合計	
総合評価割合		80	20	100	
基礎的能力		80	20	100	
専門的能力		0	0	0	
分野横断的能力		0	0	0	

松江工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	中国語4
科目基礎情報					
科目番号	0004		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	: 1	
開設学科	人文科学科・数理科学科		対象学年	5	
開設期	後期		週時間数	2	
教科書/教材	テキスト：一冊めの中国語会話クラス参考書：「中国語ジャーナル」 アルク社出版 「漢詩への誘う」 NHKシリーズ社出版 「中国語で歌おう」 アルク社出版				
担当教員					
到達目標					
中国語の発音に親しみ、簡単な挨拶、及び曜日、数字などを表現できる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	中国語の発音に親しみ、簡単な挨拶、及び曜日、数字などを正しく表現できる。		中国語の発音に親しみ、簡単な挨拶、及び曜日、数字などを表現できる。		中国語の発音に親しみ、簡単な挨拶、及び曜日、数字などを表現できない。
評価項目2					
評価項目3					
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 3 人文・数理 3					
教育方法等					
概要	<p>この授業は皆さんが身につけようとするのは、中国語の共通語（普通話）といわれているものです。本授業は、発音編（5回）、基本編（12回）、応用編（31回）の3つの部分で成り立っています。週1回の授業でも一年間無理なく終わることができるように構成しました。</p> <p>発音だけの課はなく、第一課から第5課までの単語や会話、コラムの中で発音とその表記法が自然と身につくように構成されています。</p> <p>基本編は、「あいさつ」や「月日・曜日・時間の表現」「数字の読み方」など、基本的な会話や言い方を取り上げ、中国語の構成と表現が理解できるようになっています。</p> <p>応用編では、中国の学校、普通の生活の中でさまざまな場面に出会います。そこで、現地の人と会話を通じ、中国語を学びます。</p> <p>(1) 生徒のレベルに合わせて、中国語の発音に親しむ。 (2) 正しい発音を身につけてから、中国語での挨拶、曜日の言い方、数字の読み方などを勉強させます。簡単な挨拶、及び曜日、数字などを表現できる。 (3) そして、実際、中国に留学、生活の中に会おうさまざまな場面を出し、その時に使う中国語を学びます。この勉強を通して、生徒に中国語に関心と呼び、中国へ留学に行く意欲をおこさせます。</p>				
授業の進め方・方法	<p>予習 一次の授業でするところを読めるようにする 授業中 教科書の文を理解し、読めるようにする 復習 毎週、前時学習内容の小テストを行う</p>				
注意点	期末試験(80%)・テスト(20%) で成績を見て評価します。普段の挨拶を中国語で行うことができるように				
授業計画					
後期	3rdQ	週	授業内容	週ごとの到達目標	
		1週	前期の復習します。		
		2週	ホテルの予約ときの会話を学習します(1)。		
		3週	ホテルの予約ときの会話を学習します(2) 小テスト1		
		4週	病院に行くときの表現を学習します(1)。 本文の解釈、文法の説明など		
		5週	病院に行くときの表現を学習します(2)。 会話練習		
		6週	タクシーを乗るときの表現を学習します(1)。 小テスト2		
		7週	中国映画鑑賞		
	8週	タクシーを乗るときの表現を学習します(2) 会話練習			
	4thQ	9週	旅のトラブルが発生したときの表現を学習します(1)。 小テスト		
		10週	旅のトラブルが発生したときの表現を学習します(2)。 会話練習		
		11週	人をほめる表現を学習します(1)。 本文の解釈、文法の説明など		
		12週	人をほめる表現を学習します(2)。 小テスト4		
		13週	別れるときの表現を学習します(1)。		
14週		本文の解釈、文法の説明など 別れるときの表現を学習します(2)。			

		15週	会話練習 期末試験	
		16週	期末試験のFeedback 期末試験のFeedback	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標				
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル 授業週
評価割合				
		試験	テスト	合計
総合評価割合		80	20	100
基礎的能力		80	20	100
専門的能力		0	0	0
分野横断的能力		0	0	0